

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 森脇 康仁 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.2 億円
		通常砂防事業 しみず たに 清水ガ谷川		内用地補償費	0.05 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
豊岡市 出石町 ^{かたま} 片間			19年度	19年度	21年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、溪岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、災害時の避難所である片間研修会施設及び市道を保全する。			・砂防えん堤工 1基 (H = 8.0m , L = 60.0m) 〔負担割合 国:1 / 2、県:1 / 2〕		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 清水ガ谷川は土石流危険渓流である。 平成16年10月の台風23号により、溪岸の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 保全対象: 人家 = 30戸、公共施設 = 片間研修会施設(避難所)、市道、田畑 = 1.32ha 				
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 砂防えん堤工事により土砂災害の危険性を軽減し、地域の生活道路である市道を保全することにより、地域間の交流に一層寄与する。 				
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。 				
その他	<ul style="list-style-type: none"> 地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 豪雪地帯対策指定地域に該当し、砂防えん堤工の整備により条件不利地域の安全性向上に寄与する。 				
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> 人命・財産(人家30戸)、災害時の避難所である片間研修会施設及び市道が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。 				
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 地元からの要望が強く、市等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、法面緑化を図るなど環境保全に努める。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 土石流の被害想定区域には、人家30戸、災害時の避難所である片間研修会施設及び市道がある。 平成16年10月の台風23号豪雨により流域の荒廃が進み、今後も土砂流出の危険性が高く、片間地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。 				